SIBATA

対象期間：2011年2月7日～6月30日まで

創業90周年記念企画!!

残留塩素測定器 ご愛顧キャンペーン

長い間、皆様に支えられ、当社は本年創業９０周年を迎えます。
残留塩素測定器は、ロングセラー製品として、多くの皆様にご愛用いただいております。
これからも、正確な測定を続けていただく為に、当社では、期間中、お持ちの残留塩素測定器の買い替え特価キャンペーンを実施いたします。

今がチャンス！

お見逃しなく！

日頃のご愛顧をこめて…

買い替え特価

試薬なし

通常価格 ¥10,500 ➡ ¥7,800

品目コード　080540-520

試薬付

通常価格 ¥12,100 ➡ ¥9,300

品目コード　080540-521

現在ご使用中の残留塩素測定器、そろそろ更新時期ではありませんか？
ご使用の残留塩素測定器はメーカーを問わずキャンペーン対象品となります。
日頃の感謝を込めて ... この機会をお見逃しなく !!

購入の際には販売店様へ現在お持ちの測定器をお渡しいただき
「ご愛顧キャンペーン」とお伝えください。

対象期間：2011年2月7日～6月30日まで

残留塩素の関連法令

残留塩素測定はさまざまな場所で正しく管理されることが義務付けられています。

水道水（厚生労働省：「水道法施行規則」より）

給水栓における水が遊離残留塩素を 0.1mg/L（結合残留塩素の場合は、0.4mg/L）以上保持するように塩素消毒をすること。ただし、供給する水が病原生物に著しく汚染される恐れがある場合又は病原生物に汚染されたことを疑わせるような生物若しくは物質を多量に含むおそれがある場合の給水栓における水の遊離残留塩素は、0.2mg/L（結合残留塩素の場合は 1.5mg/L）以上とする。

※水道水質基準では、「残留塩素 1mg/L 以下」という基準もあります。

プール水（厚生労働省：「遊泳プールの衛生基準」より）

第二　水質基準

（四）

a　遊離残留塩素濃度は、0.4mg/L 以上であること。また、1.0mg/L 以下であることが望ましいこと。

浴槽水（厚生労働省：「レジオネラ症の知識と浴場の衛生管理」より）

(2) 塩素系薬剤による消毒方法

○浴槽水の消毒に用いる塩素系薬剤は、浴槽水中の遊離残留塩素濃度は、少なくとも 1 日 2 時間以上、できれば営業時間中 0.2 ～ 0.4mg/L（水質が中性付近のもの）に保つことが望ましく、自動注入方式による方法と投げ込みによる方法のいずれの方法においても、浴槽水の遊離残留塩素濃度を測定し、薬剤濃度が高くならないよう（1.0mg/L 程度までが望ましい。）に注意する必要があります。

○浴槽水の遊離残留塩素濃度は、１日に２回程度ではなく頻回（１時間、２時間おきなど）に測定し、その記録を 3 年以上保存して下さい。

食品加工等（大量調理施設衛生管理マニュアルより）

３．二次汚染の防止

(12) 使用水は飲用適の水を用いること。また、使用水は、色、濁り、におい、異物のほか、貯水槽を設置している場合や井戸水等を殺菌・ろ過して使用する場合には、遊離残留塩素が 0.1mg/L 以上であることを始業前及び調理作業終了後に毎日検査し、記録すること。

残留塩素測定に関する Q&A

残留塩素測定器に関するよくあるご質問にお答えします。

Q：水道水を測定したが発色しない。なぜか？

A：水道配管内の滞留水や少し汚れた容器に汲んだ水には、遊離残留塩素が残っていない場合があります。蛇口からしばらく水を出して、容器を 2 ～ 3 回ゆすいでから測定に入り、採水後すぐに測定してください。手順が正常でも発色しない場合は、遊離残留塩素が無い可能性が高いので、結合残留塩素も測定して、結果を評価します。

Q：結合残留塩素の測定方法は？

A：DPD 粉体試薬で発色させた後、遊離残留塩素の数値を測定（A）します。その後、別売のヨウ化カリウム試薬を加え、2 分間反応させた後、比色板で測定（B）します。その後以下の式により結合残留塩素を求めます。

結合残留塩素 ＝ 総残留塩素（B） － 遊離残留塩素（A）

Q：試験管が着色してしまった。どうしたらいいか。

A：赤色着色は DPD 試薬の残さ着色です。一度付いてしまうと取るのは困難です。角形試験管の洗浄は中性洗剤か水洗いで行いますが、その洗浄で着色が取れなければ角形試験管の交換をお願いします。使い終わったら、しっかり洗浄して着色させないことが測定器管理の最良の方法です。

●このカタログに掲載の価格および仕様、外観は2011年2月現在のものです。●製品改良のため、仕様および外観が予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。●カタログの色と実際の製品の色とは、多少異なる場合があります。●本カタログに記載の価格には消費税は含まれておりません。●ご使用の前に、必ず取扱説明書をお読みください。

SIBATA 製品のご用命は…

SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.
柴田科学株式会社
本　社　〒340-0005 埼玉県草加市中根 1-1-62
東京営業所 ☎03-3822-2111　福岡営業所 ☎092-471-5515
大阪支店 ☎06-6356-8131　仙台営業所 ☎022-308-6341
名古屋営業所 ☎052-263-9310　営業推進課 ☎048-933-1574
http://www.sibata.co.jp/
カスタマーサポートセンター（製品の技術的サポート専用）
フリーダイヤル 0120-228-766　FAX：048-933-1590

No.2302K